



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社横田製作所 上場取引所 東
 コード番号 6248 URL http://www.aquadevice.com
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 博
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理総務部長 (氏名) 石田 克之 (TEL) 082-241-8674
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,057	△11.7	77	△62.3	59	△71.1	33	△74.2
25年3月期第3四半期	1,198	—	205	—	206	—	128	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第3四半期	18.67		—					
25年3月期第3四半期	83.00		—					

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,969	1,445	73.4
25年3月期	1,744	1,229	70.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 1,445百万円 25年3月期 1,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	400.00	400.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,740	0.6	301	4.9	301	4.5	183	7.4	101.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期3Q	1,873,500株	25年3月期	1,600,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	36株	25年3月期	50,200株
----------	-----	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	1,780,724株	25年3月期3Q	1,549,800株
----------	------------	----------	------------

(注) 当社は、平成25年4月1日付けで普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っており、平成25年3月期については分割後の株数により記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、金融緩和が先行し円高の是正や株式相場の上昇などにより大企業を中心に業績は好転しましたが、中小零細企業においては金融緩和や経済政策の効果を実感できない状況が続いており、また、消費税の増税や医療費・社会保険料等の負担増、年金支給開始年齢の引き上げが議論されるなど、個人レベルでの景気好転感の実感に乏しく、期待と不安の入り交じった状況となっております。

このような状況のもと、当社は自社の技術や製品の得意分野を見定め、価格競争や納期競争に巻き込まれぬよう既存製品へのてこ入れを図るとともに、セールスエンジニアの育成・増強や新たな需要分野の掘り起こしを進め、受注金額及び採算性の一層の向上を図るとともに、徹底したコスト管理や固定費の削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の受注につきましては、官公庁や食品関連企業では増加しましたが、石油化学関連企業、機械関連企業、電子関連企業では減少したため1,308,401千円(前年同期比3.7%減)となりました。売上高につきましては、官公庁への販売が好調であったものの、石油化学関連企業、機械関連企業、電子関連企業、電力会社関連企業への販売は減少したため、1,057,784千円(同11.7%減)となりました。営業利益は、固定費は吸収できたものの売上高の減少により77,526千円(同62.3%減)となりました。経常利益は、株式公開費用を16,812千円計上したことなどにより59,712千円(同71.1%減)となりました。この結果、当第3四半期累計期間の四半期純利益は、33,245千円(同74.2%減)となりました。

当社の製品別の業績は次のとおりであります。

[ポンプ製品]

受注面では、電力会社関連企業からの受注や食品関連企業から脱泡・脱気ポンプの引き合いが増加しましたが、石油化学関連企業、機械関連企業や電子関連企業からの受注が減少したことなどにより、当第3四半期累計期間のポンプ製品の受注高は、560,303千円(前年同期比1.4%減)となりました。

売上高につきましては、石油化学関連企業、機械関連企業や電子関連企業、電力会社関連企業への販売が減少したことにより、当第3四半期累計期間のポンプ製品売上高は、406,389千円(同30.7%減)となりました。

[バルブ製品]

受注面では、民間の一般製造工場からの受注は減少したものの、官公庁から自動弁及び無水撃逆止弁の受注が増加したため、272,536千円(前年同期比9.2%増)となりました。

売上高につきましては、官公庁への販売が大幅に増加したため、200,939千円(同59.8%増)となりました。

[部品・サービス]

受注面につきましては、官公庁からの受注が減少したことや、前事業年度の震災復興に伴う発電所関連需要が終了し平年並みの受注に落ち着いたため、475,561千円(前年同期比12.1%減)となりました。

売上高につきましては、官公庁や海外企業への販売が堅調であったものの、機械関連企業や電子関連企業では減少したため、450,455千円(同7.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比較して225,103千円増加し、1,969,512千円となりました。その主な増減要因は、現金及び預金が254,198千円、仕掛品が10,412千円、原材料及び貯蔵品が35,982千円、その他の流動資産が35,595千円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が89,939千円、有形固定資産が16,917千円それぞれ減少したことなどによります。

負債につきましては、前事業年度末と比較して8,468千円増加し、523,609千円となりました。その主な増減要因は、賞与引当金が75,529千円増加しましたが、未払法人税等が33,698千円、未払金や預り金等のその他の流動負債が30,644千円それぞれ減少したことなどによります。

また、純資産は、前事業年度末と比較して216,634千円増加し、1,445,903千円となりました。その主な増減要因は、株式上場に伴う新株式の発行及び自己株式の処分により、資本金が90,583千円、資本剰余金が122,580千円それぞれ増加したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期業績予想につきましては、平成25年6月13日に発表いたしました通期業績予想の数値から変更はございません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	714,369	968,567
受取手形及び売掛金	260,007	170,067
商品及び製品	5,319	9,497
仕掛品	60,520	70,933
原材料及び貯蔵品	62,761	98,743
その他	35,799	71,395
貸倒引当金	△2,073	△1,355
流動資産合計	1,136,705	1,387,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,329	61,090
機械及び装置(純額)	102,799	88,880
工具、器具及び備品(純額)	6,403	6,722
土地	366,082	366,082
その他(純額)	212	132
有形固定資産合計	539,826	522,908
無形固定資産	3,787	3,659
投資その他の資産	64,089	55,094
固定資産合計	607,703	581,662
資産合計	1,744,409	1,969,512
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	140,605	145,698
未払法人税等	38,838	5,140
製品保証引当金	6,570	6,035
賞与引当金	37,534	113,063
その他	101,394	70,749
流動負債合計	324,942	340,685
固定負債		
退職給付引当金	120,143	108,443
役員退職慰労引当金	70,054	74,480
固定負債合計	190,198	182,923
負債合計	515,140	523,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,000	130,583
資本剰余金	—	122,580
利益剰余金	1,190,524	1,192,773
自己株式	△1,255	△34
株主資本合計	1,229,269	1,445,903
純資産合計	1,229,269	1,445,903
負債純資産合計	1,744,409	1,969,512

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,198,505	1,057,784
売上原価	619,805	596,115
売上総利益	578,700	461,669
販売費及び一般管理費	373,153	384,143
営業利益	205,546	77,526
営業外収益		
受取利息	21	31
受取配当金	80	80
受取家賃	922	925
違約金収入	2,155	—
作業くず売却益	762	1,080
雑収入	912	957
営業外収益合計	4,853	3,075
営業外費用		
売上債権売却損	838	525
売上割引	2,810	3,551
株式公開費用	—	16,812
営業外費用合計	3,648	20,889
経常利益	206,751	59,712
特別利益		
固定資産売却益	508	—
特別利益合計	508	—
特別損失		
固定資産売却損	5	—
固定資産除却損	60	—
特別損失合計	65	—
税引前四半期純利益	207,194	59,712
法人税等	78,554	26,466
四半期純利益	128,639	33,245

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年6月13日付で株式会社大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)市場に上場いたしました。この株式上場にあたり、平成25年6月12日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式の発行及び自己株式の処分により、資本金及び資本準備金がそれぞれ66,240千円、その他資本剰余金が31,997千円増加しております。また、平成25年7月12日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資により、資本金及び資本準備金がそれぞれ24,343千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が130,583千円、資本剰余金が122,580千円となっております。

なお、JASDAQ市場は、平成25年7月16日の現物株市場の統合により株式会社東京証券取引所となっております。

(セグメント情報等)

当社は、ポンプ及びバルブの製造販売業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。